令和3年度　事業報告

学校法人　九州電気専門学校

1．法人の概要

(1) 建学の精神（教育指針）

① 電気技術教育を通じ国家社会の進展と人類の福祉に貢献する。
② 誠実明朗な人格の形成に努め責任を重んずる有能な技術者を養成する。
③ 勤労しつつ電気技術の習得を志す者に勉学の場を設け、地域社会に寄与する。

(2) 学校法人の沿革

○　大正12年、当時の九州帝国大学、九州財界や官界の諸先生が、将来の電気技術者の不足を憂い、向学心に燃える勤労青年を教育し、質実剛健で有意な人材を育てることを目的に、夜学として創設した。

○　戦争混乱期等、学校経営上厳しい時期もあったが、昭和30年代後半には福岡商工会議所会頭 佐藤篤二郎翁を理事長に迎え、時代の要請に応えるために青少年に魅力のある有国家資格の学校として尽力・再興、昭和51年には学校法人として現校名とし、現在地に校舎を新設した。

○　昭和50年代には電気主任技術者認定校や電気工事士養成施設指定校となるとともに、昭和57年には全日制の設置、平成7年には専門士称号認定等、様々な発展と歴史を辿り、98年の星霜を踏まえ、7,000人を超す卒業生を世に送り出してきた。

(3) 設置する学科

（表1）

課　程	学　科	昼・夜間の別	摘　要
電気工学専門課程	電気工学科	全日制	
		定時制	
	情報通信工学科	全日制	平成18年4月募集停止
電気工学一般課程	電気工事士科	全日制	
		定時制	

(4) 学科等の学生数の状況

（表2）　　（令和3年5月1日現在）

学科名		クラス	入学定員	総定員	現員数	摘要
電気工学科	全日制	2	100	200	74　(1)	
	定時制	2	50	100	19　(1)	
情報通信工学科	全日制	2	40	80	―	募集停止中
電気工事士科	全日制	1	40	40	12	
	定時制	1	50	50	5	
				（計）	110　(2)	(　)休学者内数

(5) **役員の概要**　（令和3年8月末日現在）

（表3）　　［定員数］ 理事7名　監事2名

区分	氏名	理事選任条項
理事長	梨田　一海	3号(学識経験者)
理事	渡辺　征夫	1号(校長):1名
	中原　道隆	2号(評議員)
	廣渡　健	3号(学識経験者) :計4名
	今村　弘	
	佐竹正浩	
	八尋　茂	2号(評議員) :計2名
監事	堤　　克彦	—
	遠藤　泰昭	

(6) **評議員の概要**（令和3年8月末日現在）

（表4）　　［定員数］ 19名

氏名	評議員選任条項
渡辺　征夫	1号(校長):1名
中原　道隆	2号(職員)
岡田　龍雄	4号(学識経験者) :9名
福重　康行	
池田　良司	
佐々木有三	
大島　洋	
小野　利喜	
恒松　孝二	
近藤　勲	
吉田　純一	
八尋　茂	3号(卒業生) :5名
近藤　盛弘	
吉松　信幸	
内田　宗喜	
山科　光男	
福井　文彦	2号(職員) :計4名
佐藤　博	
徳永　洋一	

(7) 教職員の概要 （令和3年5月1日現在）

（表5）

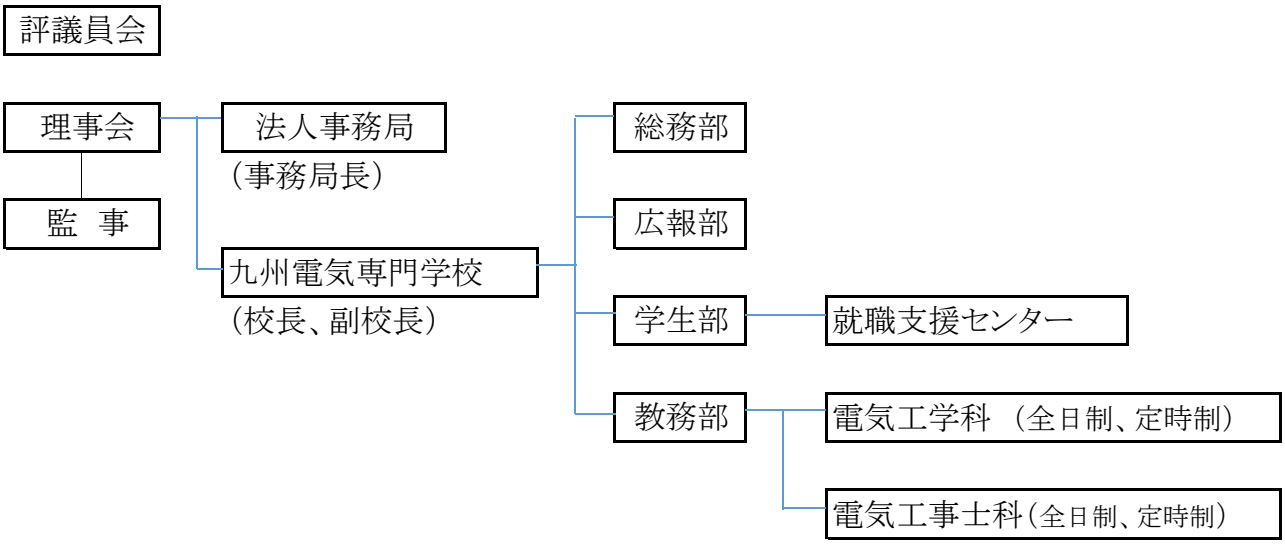
教 員	常 勤	9名	校長、副校長、電気工学科(5)＊1、電気工事士科(2)
	非常勤	40名	電気工学科(32)＊2、電気工事士科(8)
職 員	常 勤	4名	総務部長、広報部長、職員2名 ＊3

＊1 常勤教員の電気工学科5名には、学生部長を含む

2 九大生8名を含む

3 別にパート職員3名が在籍

(8) 組織図



(9) 施設等の状況

① 主な現有施設設備の所在地等の説明

（表6） （千円）

所在地	施設等		面積(㎡)	取得価額	帳簿価額	摘 要
福岡市博多区 住吉四丁目 4番5号	校地		1,734	252,498	252,498	S50.11取得
	建物		2,835	293,881	126,574	
		本館	2,053	184,380	64,176	S51.8竣工、S58.3・S60.3増設
		別館	765	99,252	56,226	S62.4竣工、H6.4・H7.4増設
		渡廊下	17	10,249	6,172	H7.9竣工

２. 事業の概要

わが国においては基調的に少子化や若者の電気離れの傾向にあり、また平成20年代中頃からは経済情勢の持ち直しや企業の人手不足等により、近年においては入学者が60名前後に低迷し、大変厳しい学校運営を余儀なくされてきている。

このような状況下、令和3年度は経営の安定を目指して、経費節減の推進や種々の収益確保施策の検討及び一段の入学者増加対策について全校一丸となって取り組むとともに学費の見直しについても検討を行い、令和4年度から改定することとなった。
また、新型コロナウイルス感染拡大の影響による経済不安から、資格取得等への意向もありR4/4入学者は77名と昨年の71名より増加した。

また本校の就職面においては良好な状況が続いており、R4/3卒業者の就職内定率は98%となった。電気技術者や電気主任技術者等の全国的な有資格者の不足が現実的な問題となっており、即戦力となる人材の養成を目指す本校での就学や就職面での有利性について、社会の認識が新たとなる契機ともなっている。

国の教育を取り巻く環境としては、近年、専修学校の質保証・向上に向けた評価制度が導入され、当校においても自己評価及び学校関係者評価を行っている。
さらに、職業大学・短期大学が制度化されるなど実学教育が指向されるとともに、少子化への対応策としての修学支援新制度も制定され、当校もその認定校となった。

今後、新型コロナウイルス感染拡大については、ワクチンの接種などにより安定傾向になり、教育環境も改善されるものと思われるが、18歳人口は減少傾向（2018年問題）にあることから、令和4年度についても、なお一層の学校経営の安定化施策や100周年記念事業の募金活動等に積極的に取組んでいく。

以上のような情勢において、経済産業省による認定校及び指定校として、当校が令和3年度に取組んだ主な内容と結果を以下に示す。

(1) 業務関係

① 奨学金及び修学支援金受給状況（表7）

o 令和3年度日本学生支援機構の奨学金及び修学支援金は、期末在籍者91名(電気工学科)のうち、受給者はそれぞれ24名（26%）、12名（13%）であった。

昨年より奨学金の受給率は増加しており、R2年度に新設された修学支援貸与者を含めると31名（34%）となる（5名は重複）。なお、それぞれの貸与人数は実人数で記載。

（表7-1）奨学金 受給状況（電気工学科 昼・夜）

	在籍者	受給状況（年度末）				受給率
	期末（A）	1種	2種	1・2種	計(B)	(B/A)
1年次	55(2)	3	9	6	18	33%
2年次	36（0）	1	4	1	6	17%
計	91(2)	4	13	7	24	26%
R2年度	79(4)	2	9	3	14	18%

（注）在籍者（ ）内は休学者で内数

＊1種：成績基準あり（無利子）
2種：成績基準実質無し（利子3%）

（表7-2）修学支援金 受給状況（電気工学科 昼・夜）

	在籍者	授業料減免		給付型	実人数	支援額区分				(B/A)
	期末（A）	入学金	授業料		(B)	100%	2/3	1/3	区分外	
1年次	55(2)	5	5	5	5	2	1	1	1	9%
2年次	36(0)	0	7	7	7	5	2	0	0	19%
計	91(2)	5	12	12	12	7	3	1	1	13%
R2年度	79(4)	7	9	9	9	6	2	1	0	11%

②学校創立100周年（令和5年（2023年）5月）にむけた記念事業の展開

o 募金（目標1.5億円）に向けた訪問活動他の実施。（R3年度末実績：約18百万円）

・新型コロナウイルス感染対策拡大の影響により活動を縮小しており、状況改善次第再開予定。

・募金の活用については活動縮小の影響も考慮し、当面学習環境整備を優先する事とする。

電気工事技術を学ぶ新学科は、教育制度の見直しや企業ニーズの変化等を踏まえ引続き検討する。

③収益力向上諸施策の検討

・ デジタル社会への変革を踏まえたカリキュラムの充実による入学者増対策の検討

・ R4.4からの学費改定検討など

(2) 広報関係

o 学校説明会(オープンキャンパス)や高等学校訪問活動、ガイダンスへの参加などを実施。
企業関連については、福岡県電気工事業2組合や同18支部訪問を主に訪問した。
・定期実施の学校説明会には、昨年より若干多い90名が参加し、その5割以上が入学している。
o 認知効果が期待できるホームページを一新し、スマートフォンからも見やすいフォームとすることで、個人からのメール・LINEによる問い合わせが増えた。また、学校向けには案内パンフレットや卒業生の「就職内定者便り」、保護者向けには「KECだより」を送付した。
更に、高校向けの「校内掲示用のリーフレット」を作成し高等学校との連携を深めた。

① 令和4年4月入学者数 (表8)

(概要)

o 入学者は77名と昨年より6名増となり、目標の80名にかなり近い結果となった。
・全日制では、電気工学科が53名で、昨年同様2クラス体制となったが、電気工事士科は、12名から13名と微増であった。
・定時制は両科で11名と昨年と同じであったが、工事士科は2名であった。
・女性は3名入学し、いずれも電気工学科(全日制)。留学生の入学はなし。

(特徴)

o 高校新卒は例年並みで6割強。なお、工業高校電気科出身が20名と昨年の約1.5倍となった。
・出身地は主に福岡であるが、沖縄を含む九州外も10名と倍増した。
・既卒者は昨年より若干増の26名(34%)であるが、大学中退者が5名と目立った。
・勤務継続者は昨年の3名に比べ5名と若干増。

(表8) 入学者数の推移　　入学者目標 80 名

			H30	R1	R2	R3	R4
電気工学科	全日制	100	38	34	28	48	53
	定時制	50	14	12	10	7	9
	(小計)		52	46	38	55	62
電気工事士科	全日制	40	4	8	14	12	13
	定時制	50	2	7	9	4	2
	(小計)		6	15	23	16	15
合 計		240	58	61	61	71	77
	対前年差		−12	3	0	10	6

(3) 教務関係

① 教育指導の充実

o 学生個々の基礎学力を把握するため、1年生に「数学実力試験」を年2回(4月、10月)実施。
なお、令和4年度からは「学力判定試験」とし、更に内容充実を図る予定。
・数学力の伸びが低い学生を対象に補講を行うなど、数学実力試験の結果に基づく指導を実施。
・デジタル教育を強化するため、「基礎講座Ⅱ(デジタル電子入門)」を導入。

o「学生による授業評価アンケート」の試行実施。令和4年度から本格実施予定。

o より実践的な職業教育に取り組むため、企業等の委員から構成される「教育課程編成委員会」の設置検討を開始(令和4年夏頃開催)。

② 国家資格取得の推進

o 在学中の国家資格取得を奨励し、新たに「資格入門講座」3コース(電験三種、電工一種・二種、基礎数学・物理)を設置するなど、資格別のコース編成を充実し、効果的な授業を実施。

o 電気工事士(第一種・二種)受験対策講座への在校生の積極的受講を指導。

o 令和3年度合格者数 (表9,10)

・ 電気主任技術者:第二種1名、第三種5名。 ・エネルギー管理士2名。

・ 電気工事士:第一種13名合格。

(表9) 国家試験合格者の年度別推移 (人)

		H29	H30	R1	R2	R3
電気主任技術者	第二種	0	0 (2)	0	1	1
	第三種	4 (5)	1 (2)	5 (6)	6 (6)	1
電気工事士	第一種	11	15	12	13	10

(注)1. 表中( )内は既卒者を含めた合格者数

(表10)電気主任技術者(第三種)の科目合格者数の推移(人)

	H29	H30	R1	R2	R3
1科目合格	5	4	3	6	6
2科目合格	2	3	1	5	3
3科目合格	0	2	3	2	0
計	7	9	7	13	9

③休学・退学者の状況 (表11)

o 学力に幅がある学生に対し、能力別クラス分けや個別指導等キメ細かな指導教育を行い、また、本人の生活面の指導も含め家庭との密な連携等を行った。

・新型コロナウイルス感染防止対策のための自粛などの影響もあったが、休・退学者は4名(3.6%)となり昨年より減少した。

なお、メンタル面への支援としてスクールカウンセラーとの連携も図った。

(表11) 在籍者と休学、退学者等の年度別推移

	H29	H30	R1	R2	R3
期首在籍者 (a)	127 (2)	107 (4)	112 (3)	107 (2)	110 (2)
(期中休学者)	(3)	(1)	(2)	(4)	(1)
退学・除籍者	6 〈1〉	5 〈4〉	6 〈2〉	8 〈2〉	3 〈2〉
期末在籍者	121 (4)	102 (1)	106 (3)	99 (4)	107 (1)
[休・退学、除籍者](b)	10	6	9	12	4
(b)/(a)	7.9%	5.6%	8.0%	11.2%	3.6%

(注)1. 在籍者の( )内は休学者で内数

2. 〈 〉内は休学者が期中に退学・除籍した者で内数

④電気主任技術者（第三種）受験対策講座を開設・募集開始

o 直前対策講座（土日祝7日間、7～8月）を開設。

o直前対策講座は、一般の受講者及び在校生を含め14名受講。

(4) 令和3年度卒業生の就職等進路

o 卒業生53名のうち、41名が就職希望(内定率98%)。他の12名は既職等。

o 就職希望者41名は昨年(48名)よりやや減少。一方、全国的に電気技術者が不足しており、当校への求人数は211社と、昨年から若干減少しているが、200社を超える求人有り。。求人倍率は5.1倍（昨年は4.7倍）。（表12、13）

o 内定企業数は35社。なお昨年と同じ企業への内定は16社21名。(53%)（表14）
職種別では、建設関係が19社22名（55%）、サービス関係（保全・電力・ｲﾝﾌﾗ）が9社10名（25%）。
九電(2名)や九電工(4名)及びその関連会社への内定者は8社9名、計15名（38%）。

（表12）卒業生の進路

		卒業者 (A＋B)	就職希望者(A)			他の進路内訳(B)				(注)
				内定(a)	未定者		進学	既職	自己開拓	その他
電気工学科	全日制	25	21	21	0	4	0	0	1	3
	定時制	11	7	6	1	4	0	2	0	2
	(小計)	36	28	27	1	8	0	2	1	5
電気工事士科	全日制	12	11	11	0	1	1	0	0	0
	定時制	5	2	2	0	3	0	1	2	0
	(小計)	17	13	13	0	4	1	1	2	0
合　計		53	41	40	1	12	1	3	3	5
	就職内定率(a/A)		(40/41＝) 98%							

(注)その他・・・ 家業手伝い
資格取得等

（表13）就職内定率等 年度別実績

	H29	H30	R1	R2	R3
就職内定率(B/A %)	98	100	98	98	98
就職希望者数(A)	59	48	49	48	41
就職内定者数(B)	58	48	48	47	40
求人社数(C)	227	252	239	227	211
求人倍率(C/A)	3.8	5.3	4.9	4.7	5.1

（表14）内定者の職種別内訳　　(　)内は内定企業数

	内定者数	内定者職種別内訳			
		建設	製造	サービス	その他
電気工学科	(24) 27	(11) 12	(5) 6	(8) 9	(0) 0
電気工事士科	(11) 13	(8) 10	(1) 1	(1) 1	(1) 1
計	(35) 40	(19) 22	(6) 7	(9) 10	(1) 1

(参考)

九電	九電工	関連会社
2	1	(6) 6
0	3	(3) 3
2	4	(8)* 9

*同一企業あり

以　上